



かどわきっ子

運動会に向けて

2学期最初の大きな行事であるメモリアルデーを終え、子どもたちは、次の週から運動会に向けた練習を頑張っています。

メモリアルデー前日の代表委員会で、今年のスローガンは次のように決まりました。

心をもやせ パワー全開 倍倍ファイト!!

各学級から出された案をもとに、自分たちの気持ちを表す言葉や流行りの言葉を入れて作りました。各学級の意見は、事前にホールに張り出され、それを見て子どもたちは「これがいよいよね」、「この言葉がカッコいいね」などと話していました。

事前に掲示しておくことで、代表委員会での話し合いが、代表児童だけのものではなく、みんなのものになります。そして、実際の話し合いでは、代表児童だけでなく、「フロア」として参加している、代表にならなかった児童にも意見を求めることがあります。

みんなで意見を出し合い、よりよい学校・よりよい学級を作っていく。これが、大野木場小学校の今年のテーマです。

全校のスローガンとは別に、紅組・白組それぞれ、6年生がスローガンを作っています。

紅組
勝利に向かって
本気でいくぞ

白組
白組連覇目指し
て 優勝するぞ!

6年生にとっては、小学校生活最後の運動会。これまでの経験をもとに、どんな応援にするか話し合い、練習を重ねています。下級生の前に一人一人が立って指導したり、お手本になったりすることはとても大変なことです。しかし、紅組団長●●●●さんと白組団長●●●●さんを中心として、みんなが頑張っています。「こうしたい」、「こうなってほしい」という思いをもって取り組むことは、何物にも代えられません。取り組むこと自体に価値があり、そこに成長があります。必死になる姿から、下級生は多くのことを学びます。

この運動会を通して、6年生が大きく成長すること、かどわきっ子が更に成長することを期待しています。当日は、多くの方に御来場いただき、子どもたちへ応援の声を掛けていただければ幸いです。

かどわきっ子 がんばれ～!

◆期日 10月5日(日)
◆時刻 8時40分 入場開始

ちょっとフレイク

雑誌「PRESIDENT」のオンライン記事を読んでいると、驚いたことがありました。その記事では、『「お腹すいたでしょ」とご飯を食べさせるのは、自己肯定感の低い子を育てる」という見出しでした。

子どもを厳しく叱責したり、放任したりすると、「自分には価値がないんだ、自分には関心がないんだ」思うようになり、自己肯定感が育ちにくいというのはよく見聞します。では、どういうことでしょうか。

読み進めると、「お腹すいたでしょ、これ食べなさい。」「寒いでしょ、もう一枚着なさい。」というような、子どもの感情を先取りして代弁することは、親が先回りして欲求を満たしたり感情を言語化したりすることになる。

つまりは、過保護な声掛けは「あなたは無力だ」をいう暗黙のメッセージを送り、過干渉な声掛けは「今のままではだめだ。」というメッセージを送ることになるということです。確かに、親が子どもを信頼していないというメッセージは、健全な心の成長を阻害します。信頼は自信になり、そこに自己肯定感が育まれます。

何だか「甘えさせる」と「甘やかす」の違いに似ています。子育てというものは、とにもかくにも難しいものだということを改めて感じました。